



前原小放課後校庭遊びだより

発効日：平成25年7月1日

発行：見守りボランティア推進委員会
推進委員長：齋藤 武

推進委員長あいさつ

平成21年9月より前原小の放課後見守り活動が開始し、今年で4年が経ちますが、学校を始め地域や保護者の皆様のご理解・ご協力で順調に展開できております。心より感謝申し上げます。

平成25年度前原小学校放課後校庭遊びも一学期が終わろうとしております。「見守りの日の遊び」について、ご家庭で話題にあがることはございますか？最近、小平市で不審者が出没し、通行人が怪我を負わされ、練馬区大泉では、下校途中の児童が殺傷事件に巻き込まれるなど心配事が絶えません。安全で安心して遊べる場を確保すると、その大切な空間には子どもが集い、仲間ができて、時間（三つの間）を共有し、互いに成長して行きます。学校・地域・保護者が一体となって、前原小の子どもたちを見守ってゆきましょう！



浦川校長先生あいさつ

複数の大人に見守られて遊べることは、とても幸せなことです。何よりも安心安全だからです。しかし、それだけではありません。保護者以外の幅広い年齢層の大人と接することで、家庭とは異なった体験が期待できます。しつけや礼儀、知識や技能、経験値や価値観など、身につけているものが、大人も一人一人違います。放課後のある時間、一緒にいることで知る「違い」が、子どもにとっては学びとなります。ですから、放課後ボランティアの方々も「先生」なのです。



熊瀬川PTA会長あいさつ

見守りボランティアの皆様には、日頃より前原小の子どもたちを文字通りあたたかく見守りいただき、心より感謝申し上げます。見守りボランティアの方が校庭にいらしていただける日は、子どもたちはより自由に校庭で遊ぶことができ、もちろん親はより安心して子どもを送り出すことができます。新しい遊びを教えていただいたり、いつもとは違うお友達と遊ぶ機会があったり、普段は家の中で遊びがちの子も外で遊ぶきっかけになったり、子どもたちにとってとても大切な場になっていると思います。

推進委員会より【放課後校庭遊び見守り活動紹介】

学校とのお約束で、「一学期中の1年生は一度下校し、改めて登校して校庭遊びをする」ようにお願い

しています。新学期開始直後に比べて参加する児童も増え、運動会後には芝生が綺麗に生え、素足で走り回る子、大縄跳びに挑戦する子、ベーゴマの糸がうまく巻けずにくじけそうになりながら頑張っている子！学年を超えて大勢の児童が遊びに熱中しています。

低学年保護者会 参加 40名



4月15日（月）一学期の低学年（1・2年生）保護者会時の図書室での見守り風景です（事前登録制です）。今年は外部の先生をお呼びして、紙芝居・読み聞かせ・クラフト・ゲームなどを教えていただき、もっと教えて！と盛り上がりました。

5月10日（金）母の日イベント開始は、見守り当初より低学年・高学年に関わらず全児童が参加できるイベントは何か？とボランティアさんで協議した結果、クラフトを



全体事業（母の日クラフト） 参加者約 120名



ありがとうございます

実施しています。「母の日」と言えば、カーネーションですね！男の子も女の子もお母さんへの日頃の

感謝の気持ちをこめて、カーネーションとメッセージカードを一生懸命作りました。また、今年はカーネーション作りの他にもプラ板のストラップ作成を併せて実施。なかなか上手く作れずに困っている子がいると作り終わった子がコツを教えたり、微笑ましい場面が随所に見られました。自分だけのオリジナル作品の出来栄には、どの子もニコニコ。校庭遊びをしながら昇降口では大勢の児童が一生懸命に向き合い、達成感でいっぱい充実したひと時を過ごしていました♪



※写真については、お子さんが特定されない様に配慮して掲載しています。